

# 令和6年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	千葉県		市町村類型	Ⅲ-3	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)	
					財政健全化等	×	歳入総額	令和6年度(千円)			令和5年度(千円)	実質収支比率			令和5年度(千円・%)
市町村名	木更津市		地方交付税種地	1-5	財源超過	×	歳出総額	55,442,381	57,332,533	実質収支比率	5.4	6.7	経常収支比率 (92.5) 標準財政規模 29,505,206 財政力指数 0.85 公債費負担比率 8.8 健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率 資金不足比率(※4)	92.1 (93.6) 28,635,489 0.84 9.4 - - 3.9 - -	
					首都	○	歳入歳出差引	2,728,667	2,844,810	(※1)	(92.5)	(93.6)			
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	1,141,667	926,696	標準財政規模	29,505,206	28,635,489			
					中部	×	実質収支	1,587,000	1,918,114	財政力指数	0.85	0.84			
人口	令和2年国調(人)	136,166	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	-331,114	325,912	公債費負担比率	8.8	9.4			
	平成27年国調(人)	134,141			山振	×	積立金	4,952	1,349	健全化判断比率					
	増減率(%)	1.5			低開発	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-			
住民基本台帳人口(※7)	令07.01.01(人)	136,843	第1次	令和2年国調	1,498	1,812	指数表選定	○	積立金取崩し額	314,933	1,498,888	連結実質赤字比率	-	-	
	うち日本人(人)	133,441		2.5	3.0	実質単年度収支	-641,095	-1,171,627	実質公債費比率	3.9	4.4				
	令06.01.01(人)	136,611	第2次	平成27年国調	14,526	15,488	基準財政収入額	20,219,202	19,548,590	資金不足比率(※4)					
	うち日本人(人)	133,473		24.1	25.2	基準財政需要額	23,913,232	23,060,695	標準税収入額等	25,768,519	24,851,158				
	増減率(%)	0.2	第3次	44,160	44,042	経常経費充当一般財源等	28,327,047	27,678,877	歳入一般財源等	37,404,194	37,357,506				
	うち日本人(%)	-0.0		73.4	71.8	職員等の状況(※8)									
面積(km <sup>2</sup> )	138.90														
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	980														
世帯数(世帯)	58,387														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	27,146,946	29,188,595	うち公的資金	20,175,374	22,444,308	
	市区町村長	1	9,600	一般職員	929	2,821,373	3,037	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	11,145,193	11,604,482	債務負担行為額(支出予定額)	14,046,925	15,829,140		
	副市区町村長	1	8,200	うち消防職員	189	600,453	3,177	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	-	-		
	教育長	1	7,500	うち技能労務職員	55	182,160	3,312	財政調整基金	6,556,141	5,248,008	積立金現在高	495,092	495,017		
	議会議長	1	5,300	教育公務員	20	86,320	4,316	減債基金	4,669,213	4,422,465	その他特定目的基金				
	議会副議長	1	4,700	臨時職員	-	-	-								
	議会議員	22	4,500	合計	949	2,907,693	3,064								
					ラスパイレス指数			101.0							

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	下水道事業会計	(6)	公設地方卸売市場特別会計	(7)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(17)	木更津市土地開発公社	
		(3)	介護保険特別会計					(8)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)			
		(4)	後期高齢者医療特別会計					(9)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)			
								(10)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)			
								(11)	君津郡市広域市町村圏事務組合			
								(12)	君津中央病院企業団(病院事業会計)			
								(13)	かずさ水道広域連合企業団			
								(14)	かずさ水道広域連合企業団(用水供給事業)			
								(15)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)			
								(16)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)			

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	22,443,744	40.5	20,761,956	67.8
地方譲与税	497,338	0.9	497,338	1.6
利子割交付金	11,812	0.0	11,812	0.0
配当割交付金	199,623	0.4	199,623	0.7
株式等譲渡所得割交付金	300,029	0.5	300,029	1.0
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	3,510,652	6.3	3,510,652	11.5
ゴルフ場利用税交付金	62,528	0.1	62,528	0.2
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	84,162	0.2	84,162	0.3
法人事業税交付金	339,451	0.6	339,451	1.1
地方特例交付金等	805,305	1.5	805,305	2.6
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	163,436	0.3	163,436	0.5
定額減税減収補填特例交付金	639,330	1.2	639,330	2.1
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	2,539	0.0	2,539	0.0
地方交付税	4,067,049	7.3	3,624,037	11.8
普通交付税	3,624,037	6.5	3,624,037	11.8
特別交付税	442,837	0.8	-	-
震災復興特別交付税	175	0.0	-	-
(一般財源計)	32,321,693	58.3	30,196,893	98.6
交通安全対策特別交付金	16,636	0.0	16,636	0.1
分担金・負担金	692,862	1.2	-	-
使用料	422,065	0.8	137,215	0.4
手数料	525,198	0.9	-	-
国庫支出金	11,732,448	21.2	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	167,430	0.3	167,430	0.5
都道府県支出金	4,184,619	7.5	-	-
財産収入	424,938	0.8	90,137	0.3
寄附金	638,744	1.2	-	-
繰入金	531,258	1.0	-	-
繰越金	1,226,696	2.2	-	-
諸収入	1,409,794	2.5	21,750	0.1
地方債	1,148,000	2.1	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	112,600	0.2	-	-
歳入合計	55,442,381	100.0	30,630,061	100.0

(注釈)  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	20,892,027	93.1	169,043	
法定普通税	20,892,027	93.1	169,043	
市町村民税	10,008,440	44.6	169,043	
個人均等割	226,277	1.0	-	
所得割	8,361,066	37.3	-	
法人均等割	498,094	2.2	-	
法人税割	923,003	4.1	169,043	
固定資産税	9,172,669	40.9	-	
うち純固定資産税	9,125,718	40.7	-	
軽自動車税	453,807	2.0	-	
市町村たばこ税	1,257,111	5.6	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	1,551,717	6.9	-	
法定目的税	1,551,717	6.9	-	
入湯税	38,972	0.2	-	
事業所税	-	-	-	
都市計画税	1,512,745	6.7	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	22,443,744	100.0	169,043	

区分	令和6年度	令和5年度
徴収率(%)	99.2	96.8
現行計	99.1	96.2
市町村民税	99.4	97.2
純固定資産税	99.2	96.7

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	6,372,546	実質収支	-
下水道	1,250,094	再差引収支	-38,041
病院	703,924	加入世帯数(世帯)	15,975
駐車場整備	74,764	被保険者数(人)	22,677
上水道	66,588	被保険者	111
国民健康保険	801,065	保険料(料)収入額	1
その他	3,476,111	1人当り	345
		国庫支出金	
		保険給付費	

歳出の状況 (単位 千円・%)				
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	312,458	0.6	-	312,457
総務費	5,430,431	10.3	175,399	4,683,001
民生費	23,587,380	44.7	115,525	11,261,028
衛生費	5,827,331	11.1	291,285	4,688,630
労働費	1,030	0.0	-	1,030
農林水産業費	680,701	1.3	157,724	397,113
商工費	891,223	1.7	2,000	612,053
土木費	5,444,086	10.3	2,614,894	3,671,823
消防費	2,033,603	3.9	279,238	1,800,967
教育費	5,183,025	9.8	540,845	3,959,478
災害復旧費	36,082	0.1	-	1,583
公債費	3,286,364	6.2	-	3,286,364
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	52,713,714	100.0	4,176,910	34,675,527

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	28,772,286	54.6	16,935,374	15,382,474	50.0
人件費	8,558,705	16.2	7,787,593	7,778,051	25.3
うち職員給	5,781,636	11.0	5,100,235	-	-
扶助費	16,927,217	32.1	5,861,417	4,318,059	14.0
公債費	3,286,364	6.2	3,286,364	3,286,364	10.7
元利償還金	3,286,364	6.2	3,286,364	3,286,364	10.7
うち元金	3,189,649	6.1	3,189,649	3,189,649	10.4
うち利子	96,715	0.2	96,715	96,715	0.3
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	19,728,436	37.4	16,072,997	12,944,573	42.1
物件費	9,639,405	18.3	7,652,719	6,768,465	22.0
維持補修費	668,553	1.3	613,890	613,890	2.0
補助費等	4,438,703	8.4	3,908,368	2,115,506	6.9
うち一部事務組合負担金	212,708	0.4	212,708	212,708	0.7
繰入金	4,351,940	8.3	3,605,373	3,439,512	11.2
積立金	348,935	0.7	285,447	-	-
投資・出資金・貸付金	280,900	0.5	7,200	7,200	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,212,992	8.0	1,667,156	-	-
うち人件費	225,335	0.4	220,801	-	-
普通建設事業費	4,176,910	7.9	1,665,573	-	-
うち補助	1,242,090	2.4	146,129	-	-
うち単独	2,656,298	5.0	1,441,246	-	-
災害復旧事業費	36,082	0.1	1,583	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	52,713,714	100.0	34,675,527	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和6年度 千葉県木更津市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	55,805	53,076	2,729	1,587	522	27,367	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298</							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	136,843	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	133,441	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	138.90	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	3.9	%
歳入総額	55,442,381	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	52,713,714	千円	市町村類型	R02 III-3 R03 III-3 R04 III-3	
実質収支	1,587,000	千円	(年度毎)	R05 III-3 R06 III-3	
標準財政規模	29,505,206	千円			
地方債現在高	27,146,946	千円			



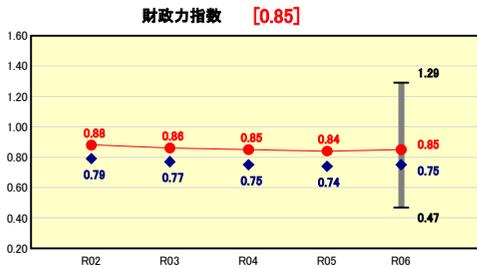
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイルズ指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

令和6年度

千葉県木更津市

#### 財政力

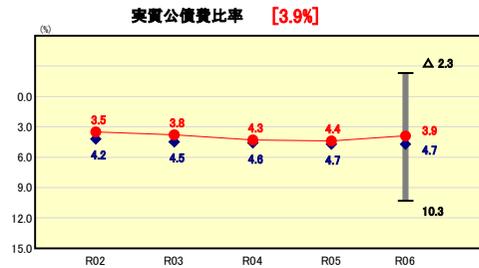
類似団体内順位 15/62 全国平均 0.49 千葉県平均 0.69



**財政力指数の分析欄**  
 令和6年度の財政力指数においては、類似団体平均値を0.10ポイント上回る0.85となっており、前年度と比較して0.01ポイント増加している。  
 要因については、個人市民税や、固定資産税などの増により、基準財政収入額が増となったことによるものである。

#### 公債費負担の状況

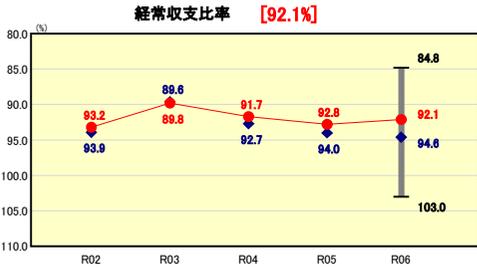
類似団体内順位 26/62 全国平均 5.6 千葉県平均 5.9



**実質公債費比率の分析欄**  
 令和6年度の実質公債費比率は、前年度と比較して0.5ポイント減少し、類似団体平均値を下回っている。  
 要因については、元利償還金の額が令和3年度から令和5年度までの3か年と比較して約1億7千万円減少したことによるものである。  
 今後についても、財政健全化の観点から、一時的な発行額の増加を除き、プライマリーバランスの黒字化に努める。

#### 財政構造の弾力性

類似団体内順位 15/62 全国平均 93.8 千葉県平均 94.1



**経常収支比率の分析欄**  
 令和6年度の経常収支比率は、前年度と比較して0.7ポイント減少し、類似団体平均値を下回っている。  
 要因については、分子となる経常経費充当一般財源において物件費や扶助費の増などにより2.3ポイント増加したものの、分母である経常一般財源において地方特例交付金や地方税の増収などにより3.1ポイント増加し、経常経費充当一般財源の増加額を上回ったことによるものである。  
 今後についても、市税滞納整理の更なる強化により市税収入の増加に努めるとともに、人件費や物件費の更なる精査を行うなど、経常収支比率の抑制に努める。

#### 定員管理の状況

類似団体内順位 48/62 全国平均 8.41 千葉県平均 7.56



**人口1,000人当たり職員数の分析欄**  
 人口1,000人当たりの職員数は、令和6年度において類似団体の平均値を上回っているが、住民ニーズの高度化・多様化に伴う行政需要の増加が見込まれ、さらに、国の制度改正や地方分権による事務の権限移譲、老朽化した公共施設の再配置など事務量の増加が見込まれており、職員の削減による改革・改善の実施や、職員の質的向上だけで市民サービス水準を維持していくことは難しくなっている。これらを踏まえ、定員管理計画では前年より定数を増やしている。  
 全国的な課題である人口の減少は、本市においても想定する必要があり、今後も引き続き、事務事業の見直しや組織・機構の見直しに取組み、適正な定員管理に努める。

#### 人件費・物件費等の状況

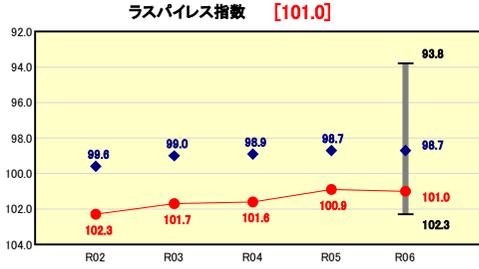
類似団体内順位 30/62 全国平均 169,281 千葉県平均 147,933



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 人件費については給料表や、勤動手当支給率の大幅な増額決定があったため、人件費が増額となった。  
 今後も給与制度の見直し、適切な定員管理により人件費の適正化を図っていく。

#### 給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 56/62 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.4



**ラスパイルズ指数の分析欄**  
 ラスパイルズ指数は類似団体平均を上回っている状況であり、これは国と比較して、初任給基準が高いこと、高齢層職員の給与水準が高いこと、令和3年度まで独自給料表を使用していたこと等が挙げられる。  
 独自給料表を是正し、国と同一の給料表に見直しを行ったことから、今後ラスパイルズ指数は下がっていくと見込まれる。  
 今後についても、国の制度や基準に合わせ適正な水準を目指していく。

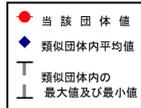
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

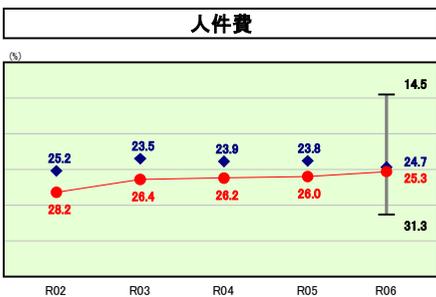
千葉県木更津市

## 経常収支比率の分析

人口	136,843	人(R7.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	133,441	人(R7.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	138.90	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	3.9	%
歳入総額	55,442,381	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	52,713,714	千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3	
実収収支	1,587,000	千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3	
標準財政規模	29,505,206	千円			
地方債現在高	27,146,946	千円			



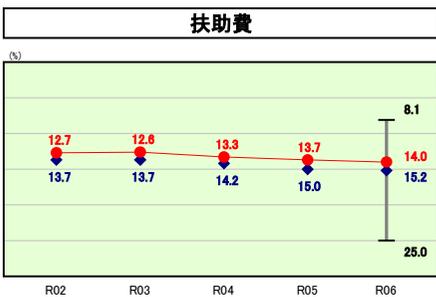
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 36/82 全国平均 26.6 千葉県平均 28.1

#### 人件費の分析欄

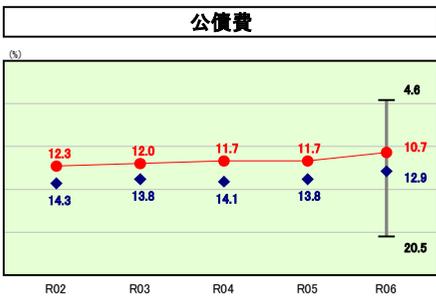
人件費に係る経常収支比率は、類似団体平均値を上回っているものの、前年度と比較して0.7ポイント減少している。これは給料表や、勤労手当支給率の増額改定などにより人件費は増加したものの、地方特例交付金や地方税の増収などにより経常収支比率の分母となる経常一般財源が増加し、人件費の増加額を上回ったことが主な要因であると考えられる。  
 今後についても、給与制度の見直し、適切な定員管理により人件費の適正化を図っていく。



類似団体内順位 27/82 全国平均 13.4 千葉県平均 13.7

#### 扶助費の分析欄

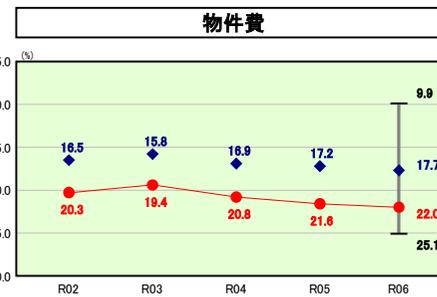
扶助費に係る経常収支比率は、類似団体平均値を下回っているものの、前年度と比較して0.3ポイント増加している。これは子どものための教育・保育給付費や障害者自立支援給付事業費などの増が主な要因であると考えられる。  
 今後についても、少子高齢化の進行による社会保障関係経費の増加が見込まれることから、多種多様な財政需要に対応するため、市全体として事務の効率化を図り、経費の削減に努める。



類似団体内順位 16/82 全国平均 15.0 千葉県平均 12.9

#### 公債費の分析欄

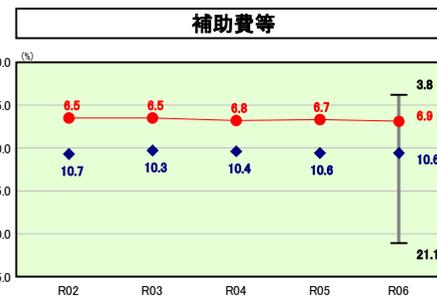
公債費については、毎年見直しを行っている中期財政計画において、一時的な発行額の増加を除き、プライマリーバランスの黒字化を図っていくこと、交付税措置の高い有利な市債を活用すること、過度な将来負担を招くことのないよう慎重に検討するなど、計画的な運営に努めている。  
 今後についても、引き続き中期財政計画に基づき、徹底した市債管理を行うことで、持続可能な財政運営を行えるように努める。



類似団体内順位 54/82 全国平均 15.6 千葉県平均 18.8

#### 物件費の分析欄

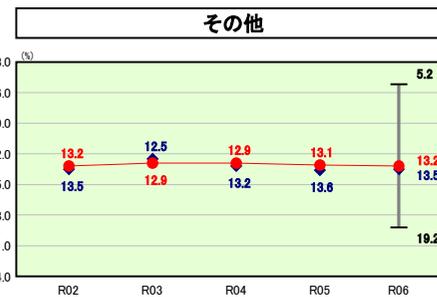
物件費に係る経常収支比率は、前年度と比較して0.4ポイント増加しており、類似団体平均値を上回っている状況である。これは一部事務組合等により共同で行う業務が少なく、直営や委託で行う業務が多いためであると考えられる。  
 今後についても、民間活力の導入やICTを活用することで業務の効率化を図り、行政改革を推進していくことで経常的経費の削減に努める。



類似団体内順位 14/82 全国平均 10.7 千葉県平均 8.7

#### 補助費等の分析欄

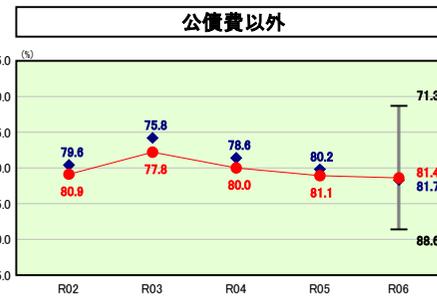
補助費等に係る経常収支比率は、前年度と比較して0.2ポイント増加しているものの、類似団体平均値と比較すると低水準を維持している。これは一部事務組合等により共同で行う業務が少ないことにより、負担金額が低いためであると考えられる。  
 今後についても、「補助金・負担金等の見直しに係る報告書」における補助金等交付基準に基づき、補助の必要性や効果などを再検証し、廃止・統合を含めた見直しを図ることで、低水準の維持に努める。



類似団体内順位 31/82 全国平均 12.5 千葉県平均 11.9

#### その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は、類似団体平均値を下回っているものの、前年度と比較して0.1ポイント増加している。これは後期高齢者医療特別会計などに対する繰入金が増加しているためであると考えられる。  
 今後についても、繰出先となる各特別会計の一層の健全な運営を推進し、比率改善に努める。



類似団体内順位 30/82 全国平均 78.8 千葉県平均 81.2

#### 公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率は、類似団体平均値を下回っているものの、扶助費や物件費の増加などに伴い、前年度と比較して0.3ポイント増加している。  
 今後についても、各経費の動向に注視しながら、ICT等の導入など事務の効率化などにより人件費の抑制を図るとともに、物件費等についても更なる精査を行うことにより、経常的経費が増加しないように努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

千葉県木更津市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	8,558,705	62,544	68,274	▲ 8.4
一部事務組合負担金(補助費等)	90,390	661	4,860	▲ 86.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	320,604	2,343	567	313.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	16	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	445,333	3,254	2,777	17.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	225,335	1,647	1,330	23.8
▲退職金	▲ 535,201	▲ 3,911	▲ 3,833	2.0
合計	9,105,166	66,537	73,991	▲ 10.1

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.93	6.28	0.65
ラスパイレス指数	101.0	98.7	2.3

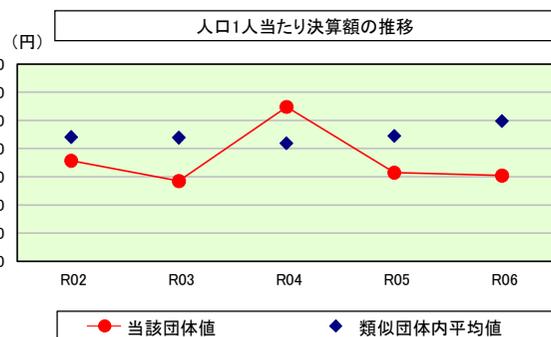
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,286,364	24,016	32,402	▲ 25.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	16	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	869,685	6,355	5,520	15.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	420,328	3,072	1,296	137.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	293,463	2,145	571	275.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲ 1,124,157	▲ 8,215	▲ 6,093	34.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,070,441	▲ 22,438	▲ 23,816	▲ 5.8
合計	675,242	4,934	9,896	▲ 50.1

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R02	4,868,691	35,790	▲ 21.0	44,161	3.1	▲ 24.1
うち単独分	2,059,280	15,138	▲ 4.0	23,644	3.1	▲ 7.1
R03	3,886,112	28,564	▲ 20.2	43,955	▲ 0.5	▲ 19.7
うち単独分	1,393,776	10,245	▲ 32.3	21,318	▲ 9.8	▲ 22.5
R04	7,474,191	54,835	92.0	41,921	▲ 4.6	96.6
うち単独分	5,035,694	36,945	260.6	21,655	1.6	259.0
R05	4,312,133	31,565	▲ 42.4	44,585	6.4	▲ 48.8
うち単独分	2,608,539	19,095	▲ 48.3	23,077	6.6	▲ 54.9
R06	4,176,910	30,523	▲ 3.3	49,779	11.6	▲ 14.9
うち単独分	2,656,298	19,411	1.7	28,921	25.3	▲ 23.6
過去5年間平均	4,943,607	36,255	1.0	44,880	3.2	▲ 2.2
うち単独分	2,750,717	20,167	35.5	23,723	5.4	30.1

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

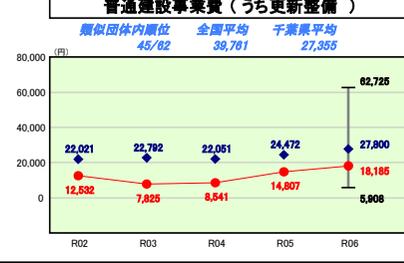
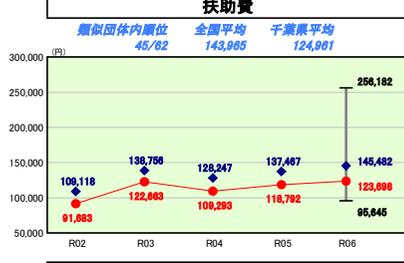
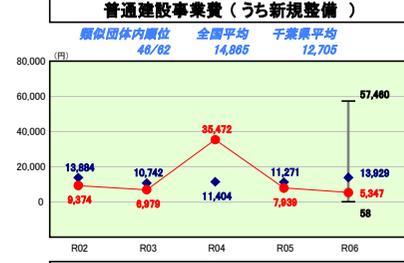
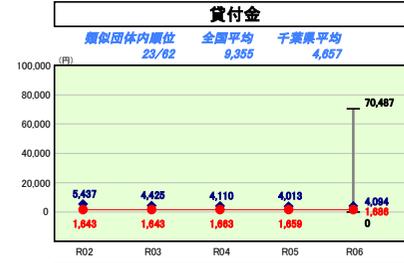
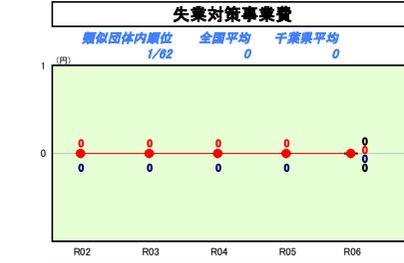
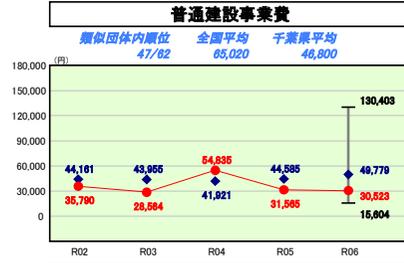
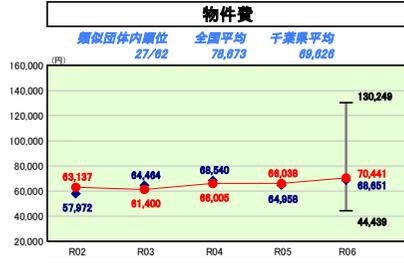
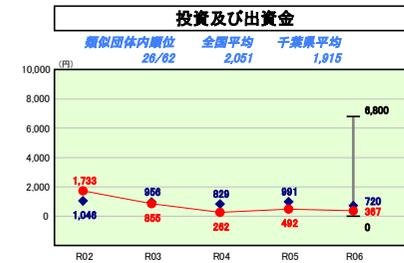
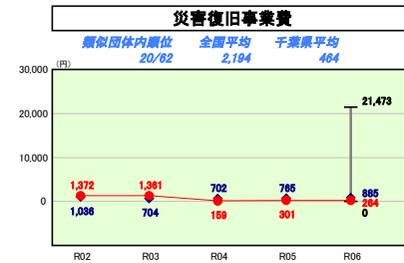
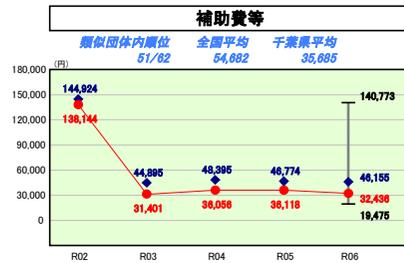
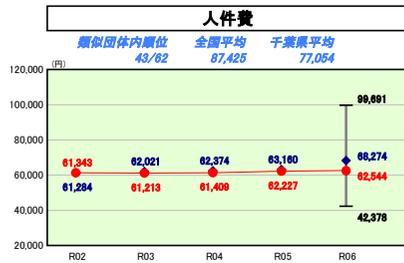
令和6年度

千葉県木更津市

人口	136,843 人 (R7.1.1現在)	実赤字比率	- %
うち日本人	133,441 人 (R7.1.1現在)	通算実赤字比率	- %
面積	138.90 km <sup>2</sup>	実公債費比率	3.9 %
人口総額	55,442,381 千円	実負担比率	- %
歳入総額	52,713,714 千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3
歳出総額	1,587,000 千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3
実収支	29,505,206 千円		
標準財政規模	27,146,946 千円		
地方債現在高			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析

○ 扶助費  
令和6年度決算における人口一人当たりのコストは、123,698円で類似団体平均値を下回っているものの、前年度と比較して増加している。これは、子どものための教育・保育給付費や障害者自立支援給付費事業費などの経常的経費の増加に加え、物価高への支援として、定額減税の実施があったことなどが要因である。依然として、子育て支援や介護に係る社会保障費は増加傾向にあるため、市全体として事務の効率化を図り、経常的経費の削減に努める。

○ 普通建設事業費  
令和6年度決算における人口一人当たりのコストは、30,523円で類似団体平均値を下回っており、前年度と比較して減少している。これは近隣3市と共同整備した「きみさくらつ聖苑」の供用開始に伴う、既存施設の解体費用などの減が要因である。今後についても、公共施設やインフラの老朽化に伴う更新整備などに費用を要することが見込まれているため、公共施設等総合管理計画や公共施設再配置計画に基づいて公共施設などの総保有量の削減やより効率的な維持更新手法への転換などに取り組み、経費の削減に努める。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

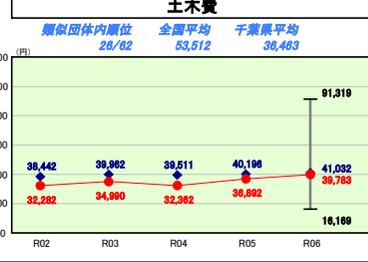
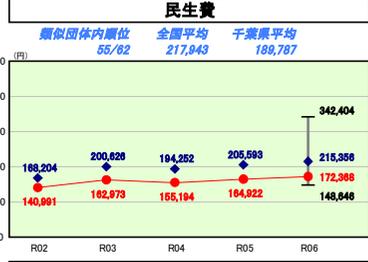
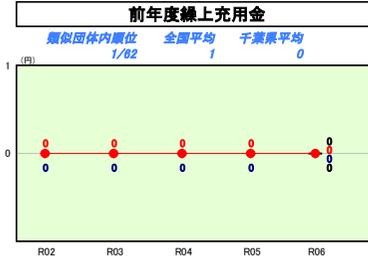
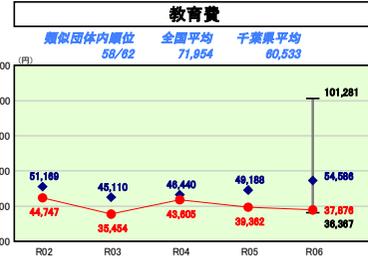
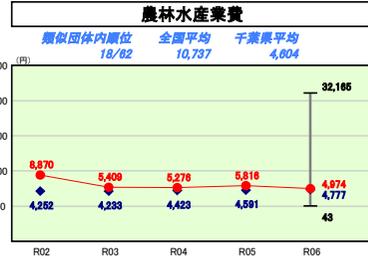
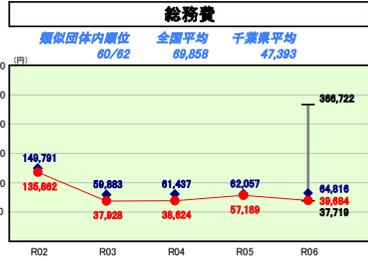
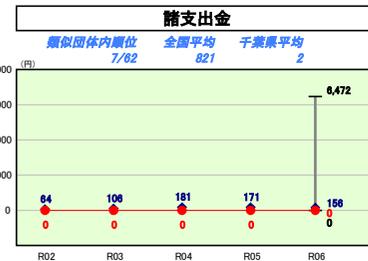
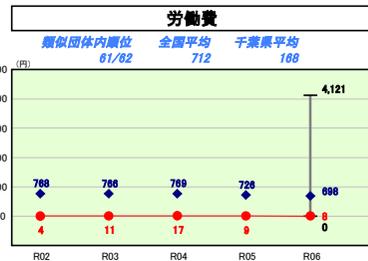
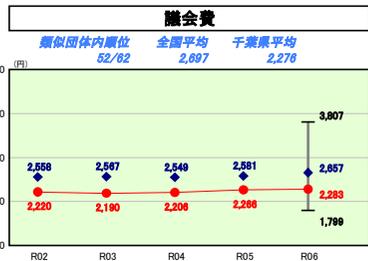
令和6年度

千葉県木更津市

人口	136,843 人 (R7.1.1現在)	実赤字比率	- %
うち日本人	133,441 人 (R7.1.1現在)	連続実赤字比率	- %
面積	138.90 km <sup>2</sup>	実公債費比率	3.9 %
歳入総額	55,442,381 千円	将来負担比率	- %
歳出総額	52,713,714 千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3
実収支	1,587,000 千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3
標準財政規模	29,505,206 千円		
地方債現在高	27,146,946 千円		

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析**

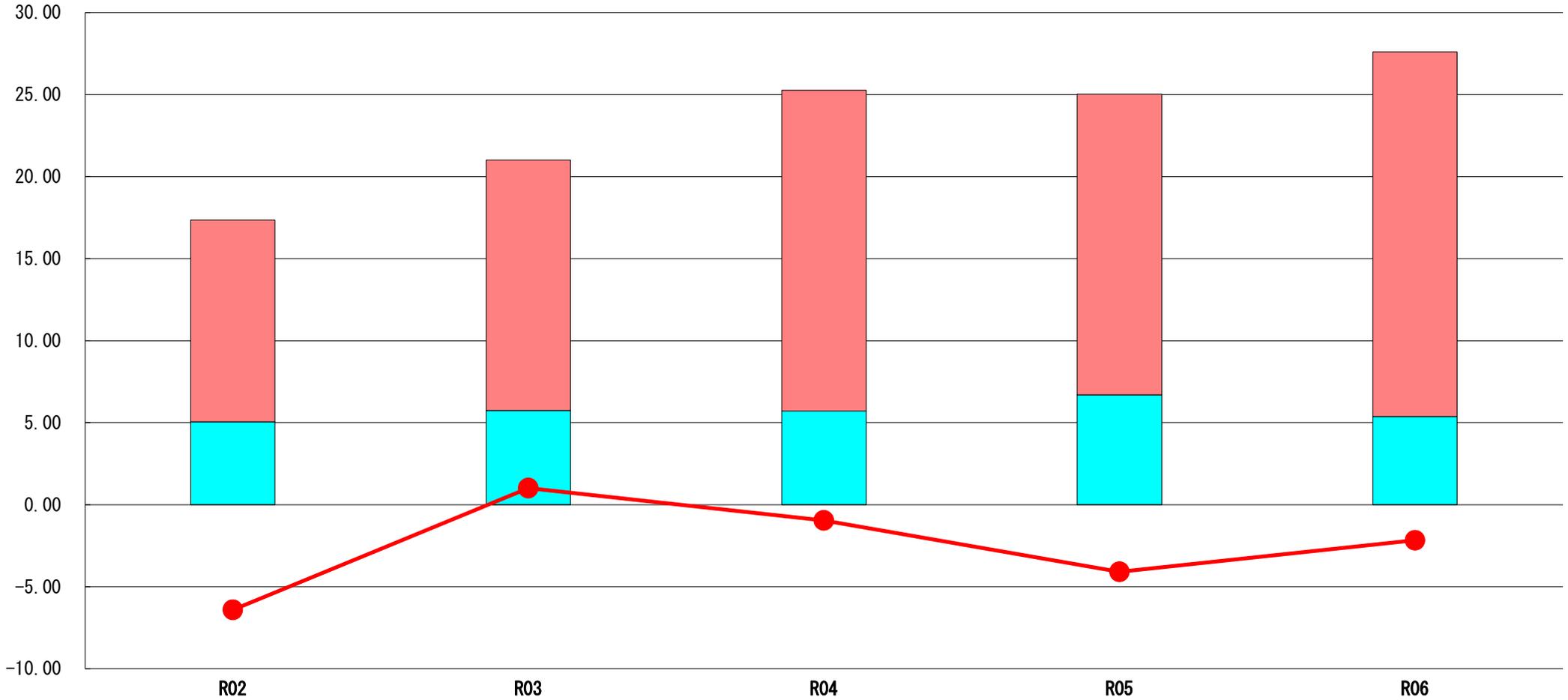
- 総務費  
令和6年度における住民一人当たりのコストは、39,684円で類似団体平均値を下回っており、前年度と比較して減少している。これは令和5年度に木更津市庁舎建設基金を廃止し、新設した庁舎整備基金へ積み替えが生じたことによる減。
- 民生費  
令和6年度における住民一人当たりのコストは、172,368円で類似団体平均を下回っているものの、前年度と比較して増加している。子どものための教育・保育給付費や障害者自立支援給付事業費などの経費の増加に加え、物価高への支援として、定額減税の実施があったことなどが要因である。
- 衛生費  
令和6年度における住民一人当たりのコストは、42,584円で類似団体平均を上回っているものの、前年度と比較して減少している。これは近隣3市共同整備した「きみさくら聖苑」の供用開始に伴う、既存施設の解体費用などの減が要因である。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

令和6年度

千葉県木更津市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		12.30	15.27	19.55	18.33	22.22
 実質収支額		5.05	5.75	5.71	6.70	5.38
 実質単年度収支		▲ 6.41	1.01	▲ 0.95	▲ 4.09	▲ 2.17

## 分析欄

財政調整基金残高は、税収の伸びが不確実であることに加え、普通建設事業費などの喫緊の課題への対応を鑑みると流動的であるが、令和6年度は、令和5年度の決算剰余金からの積立額が財政調整基金からの取り崩し額を上回ったことにより残高は増加した。

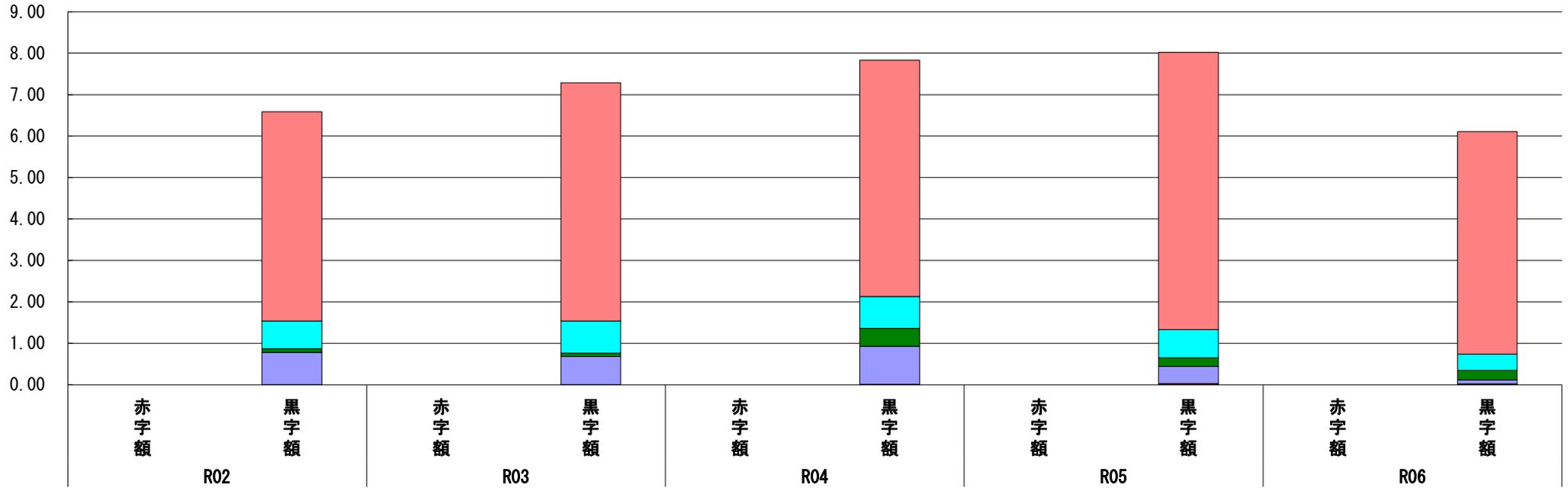
実質収支比率は、令和5年度に6.70%と増加したものの、令和6年度は5.38%と減少している。また、実質単年度収支においては、少子高齢化に伴う社会保障関係費の増加に加え、物価高や労務単価の上昇による経常的経費の増加などにより、財政調整基金の取崩しに頼らざるを得ない状況にあることから、令和3年度を除きマイナスで推移している。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和6年度

千葉県木更津市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
一般会計		5.05	5.75	5.70	6.69	5.37
介護保険特別会計		0.67	0.78	0.77	0.68	0.39
下水道事業会計		0.09	0.08	0.43	0.21	0.23
国民健康保険特別会計		0.78	0.68	0.92	0.41	0.10
後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.01	0.03	0.02
公設地方卸売市場特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	-	-	-	-

## 分析欄

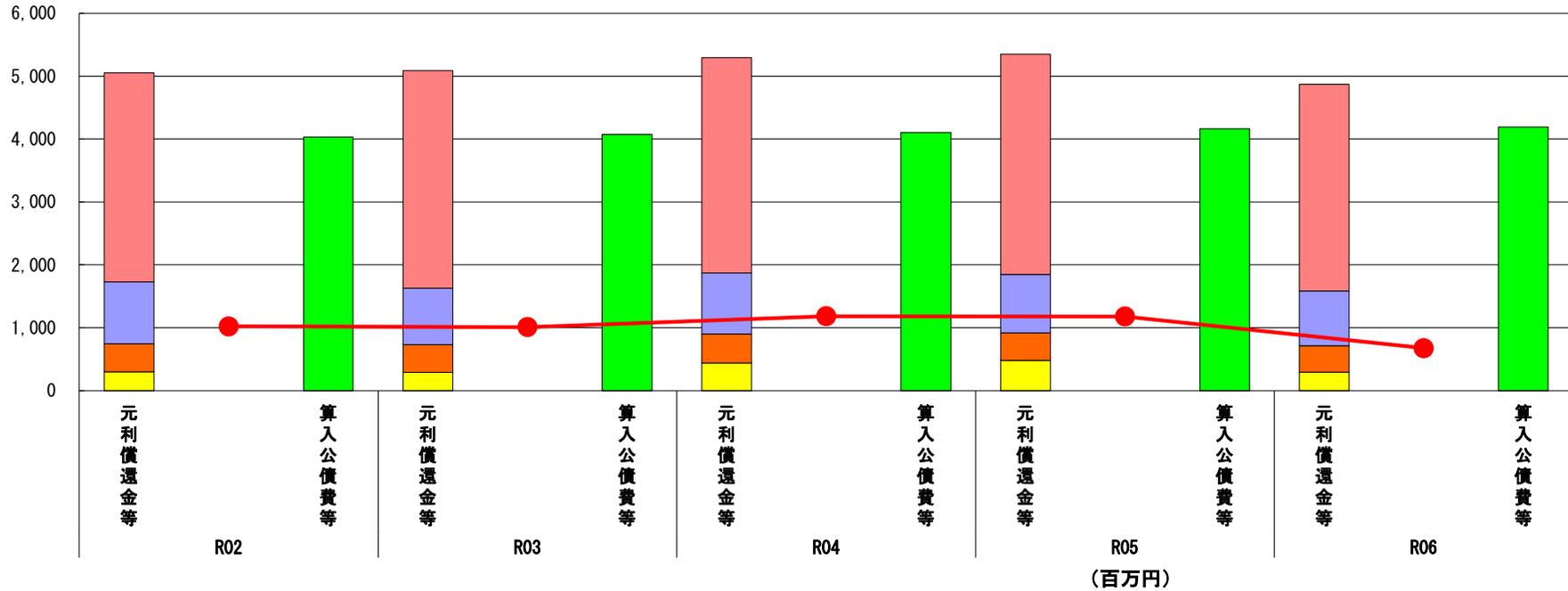
- 現状  
一般会計及びすべての会計において赤字は生じていない。
- 今後の対応  
各会計で引き続き適正な財政運営を行うよう努める。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県木更津市

(百万円)



分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等(A)	元利償還金		3,322	3,459	3,423	3,500	3,286
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		984	894	969	926	870
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		443	446	461	438	420
	債務負担行為に基づく支出額		302	288	439	481	293
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		4,030	4,075	4,108	4,165	4,194
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,021	1,012	1,184	1,180	675

## 分析欄

○元利償還金  
平成15年度に発行した臨時財政対策債や、平成25年度に発行した小学校建設事業などに関する償還が令和5年度で終了したことにより、元利償還金が減少している。

○実質公債費比率の分子  
元利償還金の額が令和3年度から令和5年度までの3か年と比較して減少したことにより、実質公債費比率の分子は減少した。

○今後の方針  
早期健全化基準未達であるが、今後も市債発行の抑制を基軸に比率の改善に努める。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高(D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額(E)		-	-	-	-	-

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

## 分析欄

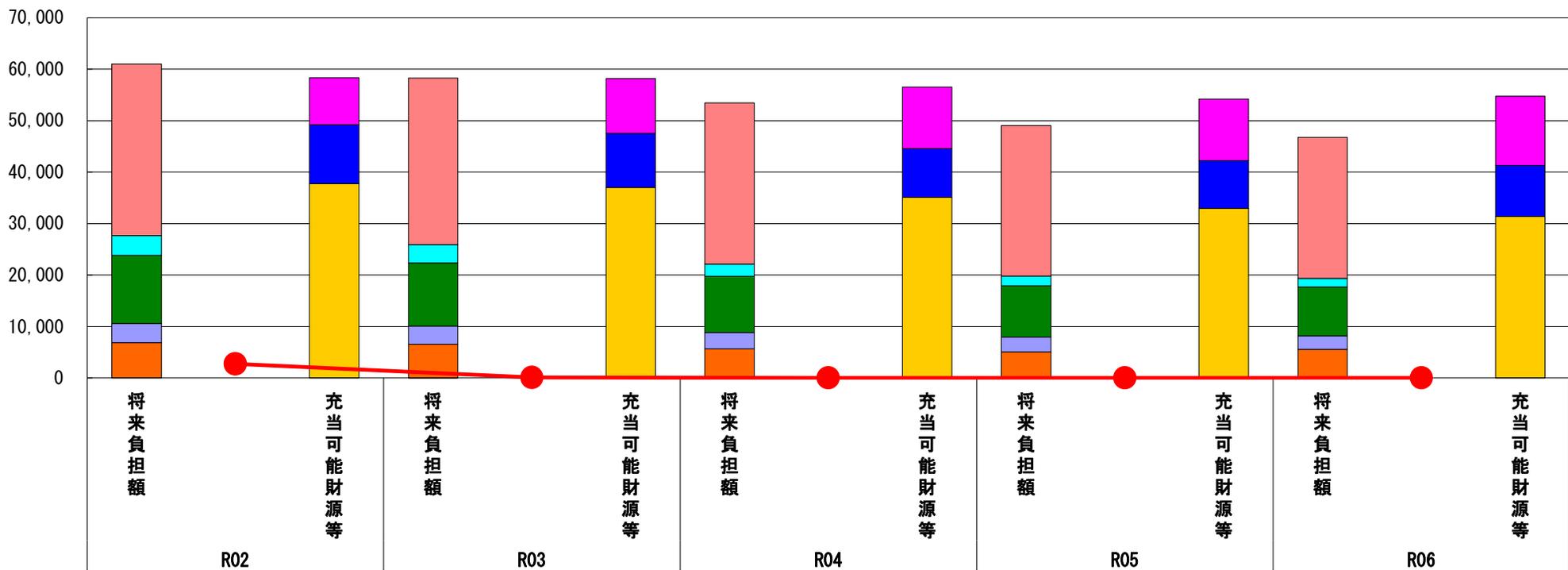
満期一括償還地方債については、平成19年度に借入れを行った以降は利用していない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県木更津市

(百万円)



(百万円)

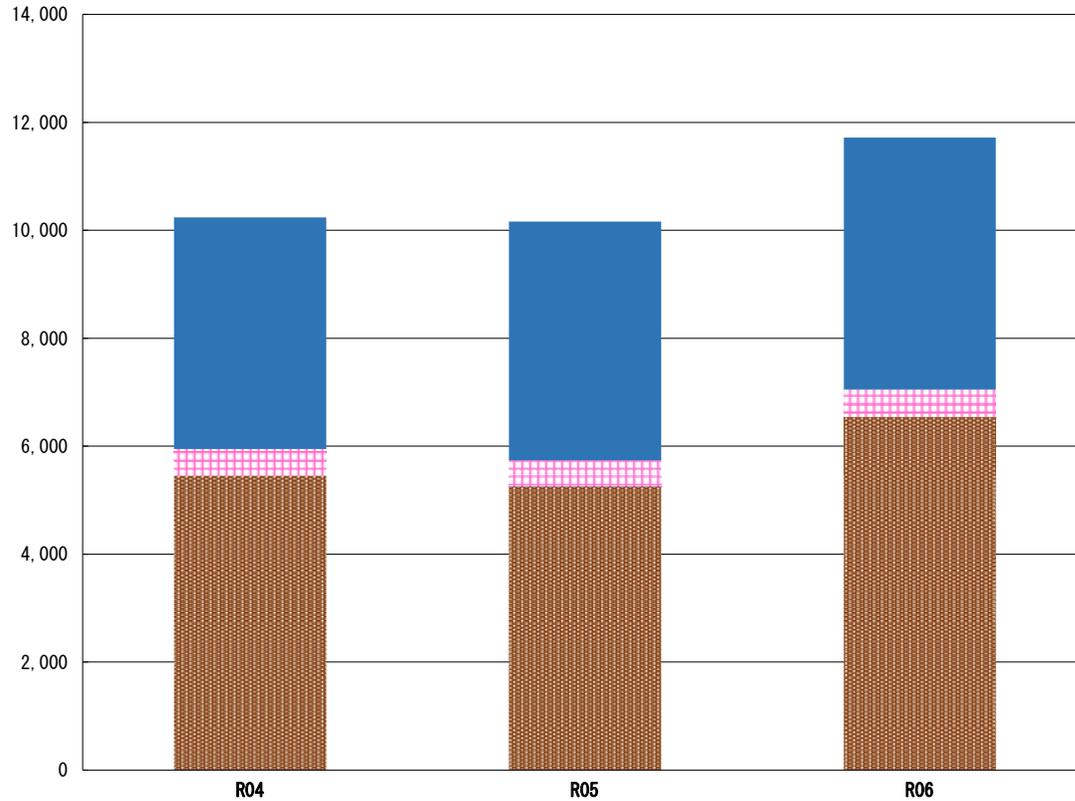
分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		33,380	32,328	31,325	29,189	27,367
	債務負担行為に基づく支出予定額		3,813	3,570	2,353	1,927	1,688
	公営企業債等繰入見込額		13,265	12,275	10,929	9,944	9,459
	組合等負担等見込額		3,731	3,519	3,164	2,907	2,665
	退職手当負担見込額		6,829	6,529	5,662	5,042	5,564
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	10	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		9,122	10,574	11,997	11,944	13,468
	充当可能特定歳入		11,406	10,518	9,429	9,286	9,914
	基準財政需要額算入見込額		37,770	37,054	35,119	32,959	31,379
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,719	84	▲ 3,112	▲ 5,180	▲ 8,019

## 分析欄

○将来負担比率の分子  
 令和6年度においては、臨時財政対策債の発行可能額が減少したことにより、地方債現在高が減少したことなどから、将来負担比率の分子は大幅な減となった。  
 ○今後の対応  
 早期健全化基準未滿で推移しているが、一般会計等に係る地方債の現在高を中期財政計画に基づいて、一時的な発行額の増加を除き、プライマリーバランスの黒字化を図っていくことにより、比率の更なる改善に努める。  
 また、令和8年度以降は新たな公共施設の整備が集中することから、単年度の公債費を抑制するため、償還期間の延伸も含め、過度な将来負担を招くことのないよう配慮する。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		5,453	5,248	6,556
減債基金		495	495	495
その他特定目的基金		4,290	4,422	4,669
庁舎整備基金		0	2,564	2,565
公共施設整備基金		1,009	918	1,097
霊園基金		289	320	324
特定防衛施設周辺整備基金		122	178	228
吾妻公園文化芸術施設整備運営基金		0	144	144
基金残高合計		10,238	10,165	11,720

令和6年度

千葉県木更津市

## 基金全体

(増減理由)

今後見込まれる公共施設の整備に係る財源として積み立てをしたことにより、公共施設整備基金が増となったことに加え、令和5年度の決算剰余金からの積立額が財政調整基金からの取り崩し額を上回ったことにより財政調整基金残高が増したため、基金全体の残高としては約15億5千5百万円の増となった。

(今後の方針)

財政調整基金について、今後の新たな公共施設整備の集中による一時的な減少はやむを得ないと判断するものの、突然起こる災害への備えや少子高齢化の進展など将来の社会経済情勢の変動に対応できるよう、30億円確保に向けて継続的な歳入確保の強化、経常的経費の創意工夫による削減に努める。  
また、特定目的基金については、それぞれの目的に沿った事業に対する財源として積極的に活用し、特に「公共施設総合管理計画」に基づく公共施設の整備・更新等を着実に実行するため、公共施設整備基金を有効に活用し、一般財源所要額の平準化を図ります。

## 財政調整基金

(増減理由)

令和6年度においては、令和5年度の決算剰余金からの積立額が財政調整基金からの取り崩し額を上回ったため、財政調整基金残高は約13億8百万円減少した。

(今後の方針)

財政調整基金について、中期財政計画で今後の新たな公共施設整備の集中による一時的な減少はやむを得ないと判断するものの、突然起こる災害への備えや少子高齢化の進展など将来の社会経済情勢の変動に対応できるよう、基金残高30億円確保に向けて継続的な歳入確保の強化、経常的経費の創意工夫による削減に努める。

## 減債基金

(増減理由)

基金の運用益を約7万5千円受け入れたことにより、残高は増となった。

(今後の方針)

活用にあたっては、今後の社会情勢を注視しながら検討していくとともに、運用益による積立てを継続して行っていく予定である。

## その他特定目的基金

(基金の用途)

庁舎整備基金 : 庁舎の整備に係る事業に要する経費の財源に充てる  
公共施設整備基金 : 既存の公共施設やインフラの建替えや大規模改修などの更新に要する経費の財源に充てる  
霊園基金 : 霊園用地の取得並びに施設の維持補修等を図る資金に充てる  
特定防衛施設周辺整備基金 : 国から交付される特定防衛施設周辺整備調整交付金を基金として管理し、公共用の施設の整備又はその他の生活環境の改善若しくは開発の円滑な実施に寄与する事業に要する経費の財源に充てる  
吾妻公園文化芸術施設整備運営基金 : 吾妻公園文化芸術施設の整備及び運営に要する経費の財源に充てる

(増減理由)

庁舎整備基金 : 基金の運用益の積み立てにより、約1百万円の増となった。  
公共施設整備基金 : 今後見込まれる公共施設やインフラの更新整備に係る財源として約1億7千9百万円の増となった。  
霊園基金 : 霊園永代使用料の積み立てにより増となった。  
特定防衛施設周辺整備基金 : 令和7年度以降の事業計画に伴い、積立額が取崩し額を上回ったことにより、約5千万円の増となった。

(今後の方針)

特定目的基金全体 : それぞれの目的に沿った事業に対する財源として積極的に活用していく。  
公共施設整備基金 : 毎年度の公共施設の更新整備費用の平準化を図るため、公共施設等総合管理計画から推計した公共施設の整備費用にかかる一般財源所要額の年平均額（7億3千万円）と、毎年度の公共施設の更新整備費用を比較して、その差額を積み立てる又は取り崩すこととしている。